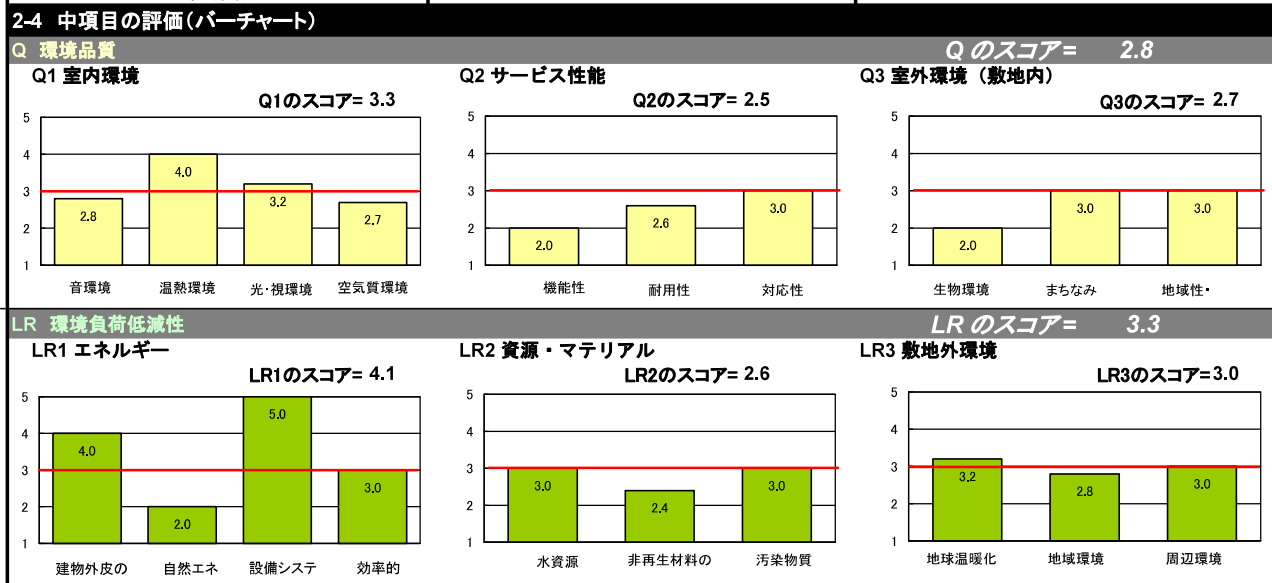
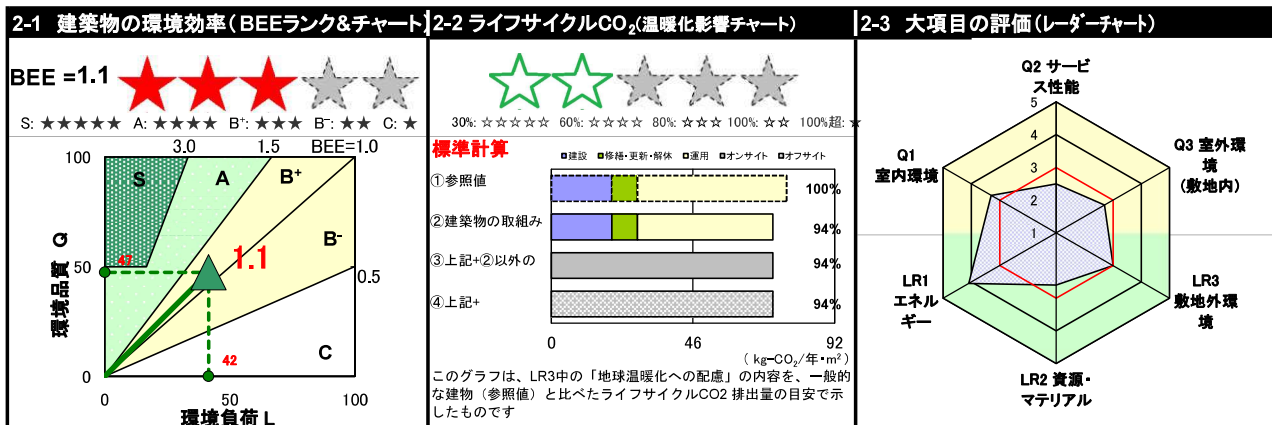


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	05県住入間霞川団地 F棟	階数	地上7F
建設地	埼玉県入間市	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域・準住居	平均居住人員	104 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2024年2月27日
敷地面積	2,758 m ²	作成者	(株)タック
建築面積	447 m ²	確認日	2024年7月3日
延床面積	2,553 m ²	確認者	(株)タック



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺にある県営団地建物と建築物の高さや色彩ベース色を合わせることで周辺環境に調和した団地環境計画に配慮した。		
その他 基礎を直接基礎で計画することで杭工法と比較して残土発生量の少なくし建設工事における廃棄物削減に配慮した。自然豊かな周辺環境を互いに利用できるように敷地境界周辺をオープンな計画とした。		
Q1 室内環境 南側の開口部を大きくとり、昼光率の確保に配慮した。建物を南向きに配置し温熱環境に配慮した。内装材はF☆☆☆☆を使用し、シックハウス対策の室内空気環境に配慮した。	Q2 サービス性能 配管の更新を共用部で行うことが出来るよう計画することで仕上りを痛めることなく修繕できるようにした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地東面の河川や西面の隣地斜面の樹木等の豊かな自然環境の恩恵も利用しながらも、芝による緑化で環境緑化面積と敷地内の視認性を確保、道路側面にアクセントとして中高木を計画した。
LR1 エネルギー 省エネ(等級4)とし、設備システムの高効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 代替フロン発泡断熱材を使用せず、地球温暖化に配慮した。	LR3 敷地外環境 自転車置場の台数を住戸数の1.5倍以上設けることで入居者の利便性を図るとともに路上駐輪対策の配慮をした。また、敷地内駐車場を利用予測した台数計画し路上駐車等の対策の配慮をした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版

05県住入間震川団地 F棟

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.40		-	3.3
1 音環境		-	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音		-	-	2.6	0.50	
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		-	0.35	4.0	1.00	4.0
2.1 室温制御		-	-	4.0	1.00	
1 室温	5-1断熱等性能:等級4	-	-	-	-	
2 外皮性能		-	-	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	-	-	
2.3 空調方式		-	-	-	-	
3 光・視環境		1.8	0.25	3.5	1.00	3.2
3.1 屋光利用		3.0	0.43	3.0	0.50	
1 屋光率		-	-	3.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.50	
1 屋光制御	カーテン+庇(バルコニー)の2種類の組合せで制御	-	-	4.0	1.00	
3.3 照度		1.0	0.21	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.36	-	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	2.7	1.00	2.7
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.5
1 機能性		2.2	0.40	2.0	1.00	2.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.6	0.30	-	-	2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		1.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
1	階高のゆとり	1～6階: 2.9m～2.95m(7階: 2.85m)	4.0	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	5-1断熱性能: 等級4	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.84	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率94%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	05県住入間霞川団地 F棟	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	---------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア				
3.2	+	2.6	=	5.8
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.2
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.2
＜配慮した内容を記述＞ LED照明を積極的に使用し一次エネルギー消費量を軽減させることで、CO2の削減に配慮した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
＜配慮した内容を記述＞ 7階建の高さを利用し各住戸の建築設備の設置位置をGL面から離して計画し、GLレベルの暑熱環境に配慮した。			

: 入力欄